建てよう！
僕たちのアフタースクール

E班
植松、田崎、長久、前川、眞木

目的

鳥取の娯楽施設に不満を感じる日々

↓

アクセス・設備・種類に問題あり？

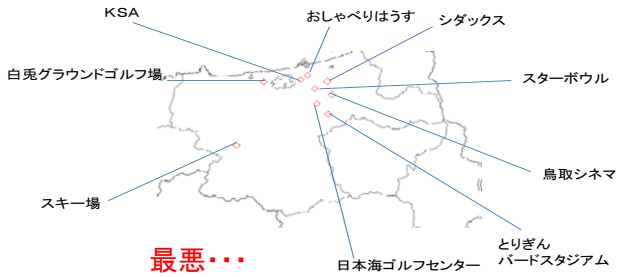
↓

近くに全ての条件を満たした施設が欲しい！！

↓

ラウンドワンやっ！！

現状



最悪・・・

仮想ラウンドワンの条件

営業時間：平日18～25時、休日10時～27時

施設内容：カラオケ、ボウリング
アミューズメント、スポーツ遊技場

利用料金：一回1880円（一律）

立地場所：鳥取大学敷地内

利用客：鳥取大学生のみ

この条件で建てることが可能か考えてみる。

この条件の元、アンケートを実施。
T検定を行った。

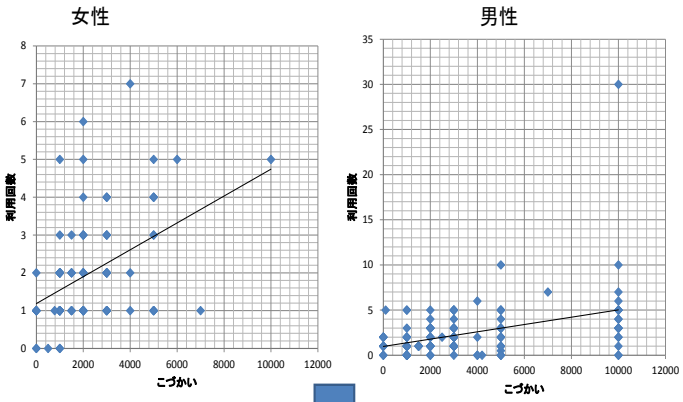
平均値の差の検定

- 帰無仮説：二群間に差が見られないと仮定
- 対立仮説：二群間に差が見られると仮定

	女性	男性
平均	2.05	2.87
分散	2.63	19.76
観測数	96	149

- 有意水準5%で検定すると自由度は149－1＋96－1より243となる。
- P(T<=t)の値が0．000761となる。
- 0．05＞0．000761となるので帰無仮説は棄却される。
- 男性と女性に分けて考える！！

こづかいと利用回数の関係



男性、女性と共に正の相関がある。
こづかいが多い人ほど、利用回数が多い傾向にある。

大学生が一ヶ月に平均2．589回来るデータより
一般のラウンドワンとの売上げを比較すると・・・

・仮想ラウンドワンの一ヶ月の平均売上げ

男性　1880×2．87×2528＝1364（万円）
女性　1880×2．05×1685＝649（万円）
合計　1364（万円）＋649（万円）＝2013（万円）

一般のラウンドワンの一ヶ月の平均売上げ：6745（万円）

このままでは建てることは不可能？
利用客を鳥大生だけではなく一般客にも拡大しよう！！！

一般客が一ヶ月にあと何回来たら運営できる？
4732（万円）÷1880（円）＝24914

あと25170回、一般客が来ると数値の上では運営可能！
鳥取市民は19万人なので
10人に1人が月に1回来れば良い！

考察
ラウンドワンの経営が利用客を大学生だけに絞ると厳しいと分かった。そこで、一般客まで利用者を広げると経営が可能である。

僕たちのアフタースクールも
夢ではない！！！